

【礼拝賛美】
「神の国と神の義を」(2回くりかえし)
神の国と神の義を ます求めなさい
そうすれば みな与えられる
ハレル ハレルヤ

小3名 J11名 S11名

【イースター】

イースター礼拝 4月20日(日)

- ・ 洗礼式を予定しています。
- ・ 特別賛美があります。
- ・ 小学科メンバーは、11時30分に3階に集合し、小学科礼拝。ホザナメンバーはイースター礼拝に合同です。
- ・ 午後は各会例会

【外部集会 案内】

【首都圏イースターのつどい】

日程 4月27日(日) 16時から

会場 淀橋教会

講師 真島聖矢 牧師

ニユーホープ東京 牧師

賛美 THIRD PLACE WORSHIP

救世軍スタッフバンド ほか

・ 詳細はチラシをご覧ください。

【有志ボランティアチームによる無料食品配布のために祈りを】今週4/5(土)に無料食品配布を予定しています。

あなたは再びもつ一つの巻物を取り、ユダの王エホヤキムが焼いた最初の巻物にあつた最初のことばを、残らずそれに書き記せ。 エレミヤ書 36章 28節

エレミヤ書の後半は非常に暗いトーンです。南ユダ王国そして都エルサレムがいよいよバビロンによって攻め落とされます。その前後の出来事が記されています。読んでいて心が痛む出来事はかりです。

これは昔の遠い国での出来事というだけではありませぬ。聖書は、この世界が罪の故にやがて裁きを受けることを預言しています。その時代には、神のことはが無視され、偽預言者・偽キリストが現れて人々と世界を惑わします(マタイ 24章)。とても恐ろしいことです。

エレミヤの時代には、王が神のことはを小刀で切り裂いては火に投げ入れて燃やしました(23節)。とても心が痛む情景です。誰

あろうと主(自身)が最も心を痛めたでしょう。主は彼らが悪の道から立ち返ることを願ひ期待してエレミヤを通してメッセージを届けました(29節)。それは救済のための働きかけでした。けれども、人々はそれに耳を貸さなかつたのです。

誰でも自分の話しを聞いてもらえなければ救しく感じるものです。主も同じです。しかし、罪の世界では真理のことは返けられ、人々は自分勝手に都合のいいことはに従います。主はどれほど心を痛めておられるでしょうか。愛しても振り向いてくれない状況は主にとっての葛藤だったでしょう。

この世界を生きたとき、葛藤が伴います。特に主に従おうとする人は葛藤を抱えるも

のです。エレミヤもそうでした。真理を語っても人々は耳を傾けず、むしろ攻撃されたり、捕らえられたり、いくつもの危険を経験しました。どんなに苦しかったでしょう。終末の時代を生きたことは容易ではないとエレミヤの背中が語っています。

けれどもエレミヤは困難な時代に信仰を全うしました。それは彼が主のことはを聴き続け、主のことはを敬ったからです。主のことはが彼を支えたのです。たとえ燃やされても失われず復活するのが主のことはです(28、32節)。主のことはを携えたエレミヤたちは捕らえられても滅ぼされず、心ある人の助けを受けながら(三三、三九章)、その生涯を全うします。彼は主に支えられたのです。私たちも葛藤を抱えます。時には一人では抱えきれませぬ。そんな私たちをいのちの主

のことはが支えてくれるのです(泰)

3月30日 聖日礼拝

第1礼拝 9時 林伝道師 荻野し兄
第2礼拝 11時 荻野と兄 榎原 姉

前奏

招詞 エレミヤ書33章2、3節

会衆賛美 聖歌134 おおくのかむり
会衆賛美 神の国と神の義を

主の祈り

交誦 詩篇1篇1、6節

(旧約聖書 934頁)

礼拝祈禱

使徒信条

聖書朗読 エレミヤ書36章21、32節

(旧約聖書 1362頁)

説教 神のことばに支えられて葛藤を生きる

荻野泰弘牧師

会衆賛美

聖歌469

さかえの王にます主の

献金

頌栄 聖歌376 父御子御霊の

祝祷

報告

感謝祈禱 奏楽

【招詞(主の招きのことば)】

エレミヤ書33章2、3節「地を造った主、それを形造って堅く立てた主、その名が主である方が言われる。『わたしを呼べ。そうすれば、わたしはあなたに答え、あなたが知らない理解を超えた大いなることを、あなたに告げよう。』アーメン

【本日(予定)】

■会堂清掃 礼拝後

■小学科ホザナ礼拝 11時、3階

お話 林伝道師

■バイブルカフェ

■オアシスデイ

午後にはプログラムはありません。家や教会でゆっくり過ごしましょう。

【イースター献金のお願い】

本日、趣意書を配布しました。教会財政を覚えて祈りと共にささげてください。

【本日(礼拝奉仕者)】

■第1礼拝

礼拝祈禱

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱

報告 司会者

受付 荻野牧師

配信 配信チーム

■第2礼拝

礼拝祈禱

聖書朗読

献金1階

2階

献金祈禱

報告 司会者

会場 荻野牧師

受付

パワポ

パワポチーム

【次週の説教】

説教者 荻野牧師

聖書箇所 ルカの福音書

22章31、48節

【教会総会報告】

お祈りをありがとうございます。先週23日(日)午後、蒲田シオン礼拝堂において教会総会を執り行いました。議案について兄弟姉妹のご承認をいただきましたことをご報告致しますと共に感謝申し上げます。

《総会の様子など》

質疑応答では、いつもと比べて多くのご質問をいただきました。執行部による説明に加えて、質疑によってお互いの理解が深まったものと思えます。一方で、説明を聞いても不安が払拭されない点もあったかと思えます。ぜひとも、その不安を祈りに変えていただき、主の助けが増し加えられるよ

うに求めてください。

特に聖日礼拝と並行してCS活動を行うことで奉仕者の負担や、奉仕分担のローテーションがうまく回せるかという不安があります。今はこれが蒲田シオン教会の現状であるのが正直な現実です。ただ、これはより良く変わるための第一歩です。これからどのように主が導かれるか、主の導きに柔軟でありたいと願います。

一方で、日曜日の礼拝式が原則的には11時からの聖日礼拝に集中することは、やはり積極的な大きな変化であることを感じています。それは特に奉仕者において見られることです。表面的には劇的な変化には見えづらくかと思えますが、徐々に兄弟姉妹にも感じていただけるものと思えます。

今後の大きな宿題としては、教会財政が減少傾向にある中で、借地代は値上がりしている教会堂の維持と今後の方向性です。総会資料の巻頭言に触れた通りで、まずは情報収集をしながら兄弟姉妹と共に祈ることです。主が私たちをどこに導こうとしておられるのか、共に求めていきましょう。これについては今後改めてアナウンスして参ります。

新年度もよろしく願います。

【新年度に向けて】

■礼拝について

次週より礼拝形態が変わります。

*9時より 小礼拝

オンライン配信実施

*11時より 聖日礼拝

可能な方はなるべく聖日礼拝にご出席ください。ご都合のある方は小礼拝をご活用ください。

*11時より 小学科ホザナ礼拝

4月は小学科とホザナは合同礼拝です。今後、奉仕者のやりくりが可能

な場合は小学科礼拝、ホザナ礼拝も実施したいと願います。

*こひつじ礼拝について

4月からは幼児のレギュラーの対象者がおらず、乳児だけになるので通常のこひつじ礼拝は開店休業状態です。それでも担当者は突然の来会などに備えて準備をしようとしています。

■祈禱会について

4月から毎週開催いたします。

毎週木曜日 10時半より

人数ではありませんが最近はお席

者が増えており、教会の課題について

集まって祈れることが感謝です。